

# 法 規

〔1〕 基地局を開設しようとする者は、総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）にどのようにしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その旨を報告する。
2. その旨を届け出る。
3. その旨を登録する。
4. その旨の免許申請をする。

〔2〕 再免許を受けた固定局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 5年
2. 4年
3. 3年
4. 無期限

〔3〕電波法に規定する「電波」の定義は、次のどれか。

1. 30万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。
2. 100万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。
3. 300万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。
4. 500万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。

〔４〕 陸上移動業務の無線局の免許人は、主任無線従事者を選任したときは、総務大臣が別に告示するところによる場合を除き、当該主任無線従事者に選任した日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか、次のうちから選べ。

1. 5年
2. 1年
3. 6箇月
4. 3箇月

〔5〕 無線従事者が免許証の再交付を受けようとする理由に該当しないのは、次のどれか。

1. 免許証を失ったため。
2. 免許証を汚したため。
3. 氏名に変更を生じたため。
4. 住所に変更を生じたため。

(6) 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局で人工衛星局の中継により無線通信を行うものの多重無線設備の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるものの最大の空中線電力は、次のどれか。

1. 100 ワット
2. 50 ワット
3. 25 ワット
4. 5 ワット

規

〔10〕 無線局が非常通信を行ったとき、電波法の規定により免許人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 非常災害対策本部長に届け出る。
2. 地方防災会議会長に報告する。
3. 総務省令で定める手続により承認を受ける。
4. 総務省令で定める手続により総務大臣に報告する。

3. 総務省令で定める手続により承認を受ける。
4. 総務省令で定める手続により総務大臣に報告する。

〔11〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任又は解任したときは、電波法の規定により、どのような手続をとらなければならないか、次のうちから選べ。

1. 1 か月以内にその旨を報告する。
2. 速やかに総務大臣の承認を受ける。
3. 遅滞なくその旨を届け出る。
4. 2 週間以内にその旨を届け出る。

〔12〕 無線局の免許がその効力を失ったとき、免許人であった者がその免許状についてとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 直ちに廃棄する。
2. 適当な時期に返送する。
3. 1 か月以内に返納する。
4. 2 年間保管する。